



菅生学園報

第5号 2021年 新年号



理事長メッセージ



理事長 島田 幸成

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年はコロナ禍の中で、今まで経験したことのないことの連続で大変な年でした。特に、4月7日に緊急事態宣言が出され、休校が続きましたが、児童生徒の学びの機会を提供するため、オンライン授業を初め、各部門で独自の取り組みが展開され、頼もしく思ったところです。

その後、年末には東京都全体で感染者が増加し、高校ではコロナ感染者が出ましたが、感染対策、保護者や地域への状況説明など対応に苦慮したことも多々あったことだと思います。

こうした各部門の全ての対応に対して、心から感謝したいと思います。

今年に入ってから、コロナ第三波の流行にともない緊急事態宣言が出されました。今回、学校を休校にすることは今のところ予定しておりませんが、児童生徒が安全安心に学校生活を送ってもらうために、引き続きコロナ感染対策の徹底が不可欠です。学園教職員の皆様にはこうした状況を踏まえつつ各部門長の指示に従い教育活動を展開していただくようお願い申し上げます。

学園としては高校野球部の春のセンバツ甲子園大会出場をはじめとしたクラブ活動の躍進や中等部でスタートする医学・難関大コースなど新しい取り組みも計画され、大いに期待するところです。

私学経営にとっては厳しい環境が続きますが、本年も学園の更なる発展のために、関係各位のご尽力を心からお願いし、年頭の挨拶とさせていただきます。

菅生のあゆみ

= 菅生がめざす一貫教育 =

今年の新年の始まりは、残念ながらコロナ禍の最中からのあいさつになりますが、菅生学園全体の元気を早く取り戻したいものです。

さて、菅生学園では、初・中・高の一貫教育に取り組み、約5年の月日が過ぎようとしています。まだ確実な姿ではないとはいえ、この目指している一貫教育は、素晴らしい教育の形だと感じます。まず、一人の生徒の年少児から高校生までの成長の姿が目目の当たりで見ることができるといことです。とはいえ、この年少児からの12年間は、とても長い道のりで、必ずしもスムーズに登れる成長の坂道ではありません。しかし、この間の生徒一人ひとりの学習や体力づくり、心の成長などの後押しをしながらはぐくんでいくやりがいのある一貫教育を課題として、今後も努力を惜しまず研修し、菅生の一貫教育を目指して前進し、歩いていくことができますようよろしくお願いいたします。



副理事長 島田 洋子



菅生高校野球部
秋季大会優勝！

- ◆ 目次
- ◆ 理事長メッセージ
- ◆ 菅生のあゆみ
- ◆ 今年一番の笑顔
- ◆ 永年勤続表彰者の皆さん
- ◆ 園長／校長メッセージ
トピック、活動報告
今後の予定
- ◆ 父母会・同窓会
会長メッセージ
- ◆ 編集後記

菅生学園 今年1番の笑顔

多摩学院幼稚園

コロナ禍で新しい生活様式になり、なかなか行事などができず寂しい思いをしていた子ども達。7月に行われた夏祭りでは、みんなでゲームをしたり、お店屋さんをしたり、他学年と関わる事ができました。やっぱりみんなで遊ぶのって楽しい！！と感じ、笑顔いっぱいの夏祭りとなりました。景品を貰いとっても嬉しそうな子どもの笑顔をパシャリ📷



年長組

菅生学園初等学校

運動会では気持ちのよい秋空の下、力いっぱい躍動するみんなに最高の笑顔がはじけました。時短や種目変更などを余儀なくされましたが、子どもたちの活躍に保護者の皆様もご満足いただけたようでした。



菅生高等学校中等部



2020年度初の学校行事であったスポーツ大会は、たいへん盛り上がりしました。全校生徒が集まって開催できたことがみんなとても嬉しかったです。

菅生高等学校



男子バレーボール部
全日本予選都予選3位
硬式野球部
秋季大会優勝

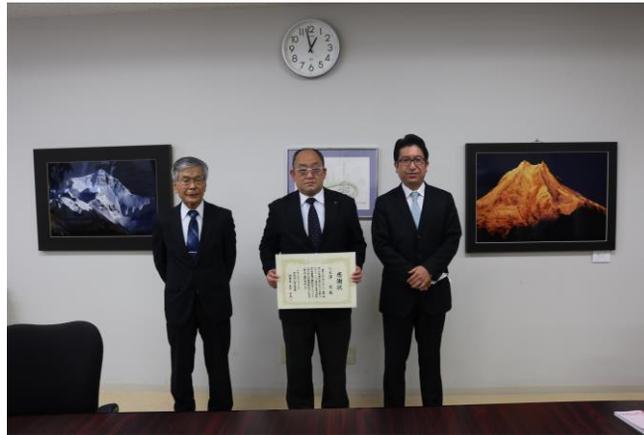


永年勤続表彰の皆さん

今年永年勤続表彰を受けられた皆さん、おめでとうございます！



高等学校：小山恵教頭先生，八木澤哲事務長代行



中部部：副島有紀子先生，村上晋先生

表彰者の皆さんに永年勤続表彰にあたっての想いをお寄せいただきました。

小山 恵教頭先生

勤続30年。この仕事をしていると、30年前も今もあまり変わらないことをやっているの、30年間の長さがどんなものなのかよく分からない。30年前の1990年はどんな年だったのか。プロ野球日本シリーズでは西武が4-0で巨人を破り2年ぶり9度目の日本一を飾る。西武の監督は森祇晶、巨人の監督は藤田元司、西武の清原和博はプロ入り5年目で、この年に自己最多の37本のホームランを打っている。後に大リーグで活躍する野茂英雄が近鉄でデビューを飾り、MVPと新人王を受賞する活躍をした年でもある。ちなみにサッカーのJリーグはまだ始まっていない。

(1993年に初年度のリーグ戦開催) 相撲界では横綱の千代の富士、北勝海と大関の旭富士が2度ずつ優勝しており、旭富士は7月場所後に第63代横綱に昇進した。自称靴職人花田優一の父、元横綱貴乃花は5月場所に史上最年少の17歳8カ月で新入幕を果たした。テレビの世界では、この年からレコード大賞がポップス・ロック部門と歌謡曲・演歌部門に分かれ、大賞はそれぞれB.B. キーンズのおどるポンポコリン、堀内孝雄の恋唄綴りが受賞している。西多摩霊園に眠る松田優作はこの前の年の11月6日に亡くなっている。また、1月には第1回大学入試センター試験実施され、11月には前の天皇の即位の礼の祝賀パレードが行われた。(1990年は平成2年) あきる野市はまだ誕生していない。秋川市と五日市町が合併するのは1995年のことである。

1990年4月、東海大学菅生高等学校は8期生が入学し、生徒数は2,000名を超えていた。この年から私は本校に勤務することになり、1年6組の担任となった。私の隣の1年5組は赤松恵子先生、1年7組は河野浩三先生だった。当時も今も変わらないのは、クラブ活動が盛んで、あいさつできる生徒が多いということ。やはり、これが本校の特徴・良いところだと思う。この年の宮城インターハイには本校のサッカー部がインターハイ初出場している。野球部が初めて甲子園に行くのは6年後の1996年の夏が初めてである。ちなみに、本校にソフトテニス部(当初は軟式テニス同好会)ができるのは翌年の1991年である。

30年間で先生が変わったり、修学旅行の行き先が変わったりしたが、我々のやっていることの基本はあまり変わらないと思う。ずっと同じようなことをやっているの、自分自身がこの30年でどれだけ成長したかどうか、なかなか評価できないが、この仕事を続ける限りは、他の先生と一緒に「面倒見がいい学校」と評価してもらえるように頑張りたいと思う。

八木澤 哲事務長代行

私は菅生高校第1期生。大学で野球をやっていたところ、島田久前理事長から母校の野球部のサポートをしてほしいとの要請があり、着任した。個性豊かな監督さんたちとともに野球部のサポートをし、監督、部員、保護者のパイプ役も担ってきた。また、10年間寮で生活し、当初はお兄さん、その後はお父さんの存在だった。大会ではグラウンド整備を自らい、生徒の見本となっていると思う。

永年勤続30年を記念して、野球部OBの父母が「八木澤 はんばねえ」と書かれたTシャツ、タオル、マフラー、マスクを制作してくださった。Tシャツは、都大会でも特例として着用が認められた。

菅生学園のよいところは、開放的なところである。今後は中堅クラスの先生の層が厚くなるといいと考える。

菅生生には、「どんなことでも一番になって」と言いたい。これは当時の校長先生に言われたこと。自分を信じて突き進むものを見つけ、スポーツにも勉強にもがんばってほしい。

村上 晋先生

今回このようなありがたい賞を頂きまして、本当にありがとうございます。これまでコツコツと、自分に出来る一杯の成果を出そうと頑張ってきた事が、こうやって永年勤続表彰という形となった事で、一つの良い意味での節目になったのかな、と感慨深い思いでいっぱいです。今までたくさんの先生方や管理職の先生方にめぐまれて、ここまでやって来ました。決して私だけの力では、たどり着く事は出来なかったと思います。表彰していただいた菅生学園、そしてご助力頂いた皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからもより一層気持ちを引き締めて頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

多摩学院幼稚園

園長メッセージ



仲野 三千代園長

= 心ある「教育と保育」を =

新年 あけましておめでとうございます。
 2021年（令和3年）多摩学院幼稚園は、創立51周年を迎えます。また、新時代を迎えて、3年目の年でもあります。新たな年を迎え過ぎる喜びに感謝し、素敵な時を沢山重ねていくことが出来る事を嬉しく思います。
 日頃より、当園の成長と教育活動を支えていただき、皆様に感謝するとともに、幼児教育を支え続けられました事は、皆様のご援助、ご指導の賜と存じます。
 子ども達は、希望の光！これからの幼児教育についても、子ども達が、夢を描き、輝き、のびのび元気に過ごせるためには、今以上に教職員が、勇気と自信と誇りを持ち、工夫をして子ども達と丁寧に関っていくこと、子どもと共に創り出す営みを楽しんでいくことがとても大切な時であると痛感しています。
 また無限の可能性をひき出し、園の理念と感染症対策とのバランス及び温かな安心の風土を作り、一貫校であることの使命の充実、更なる意識の向上をし、質の向上を目指し教育の力を常に進化させ、幼児教育に邁進していきます。そして今後とも力を尽くして一層の発展を期したいと存じます。

トピック

= 多摩学フェスティバル =

10月30日（金）に多摩学フェスティバルが行われました。例年のように保護者と共に行うことはできませんでしたが、ホールでは体育講師の宝川先生によるアスレチックを使ったサーキットを行いました。フラフープをくぐったり、ジャンプしたり体を動かして楽しみました。

また、ハロウィンが近いこともあり、ハロウィンで飾られたお部屋や先生達子ども達ともに仮装をして、各クラスでおばけ退治などのお楽しみ会や木の実制作を行いました。「trick or treat」と言って園長先生からお菓子のプレゼントをもらうこともできました。

コロナ禍で今までとは違う生活スタイルとなり、日々頑張っている子ども達に少しでも喜んでもらうため、先生方も楽しい企画をしてくれました。子ども達の笑顔があふれる一日となりました。

楽しい企画に笑顔がいっぱい

木の実制作（保育園）



クラスでのお楽しみ会（年少組）



アスレチック（年中組）



木の実制作（年長組）



クラスでのお楽しみ会（年長組）



活動報告

9 / 1	2学期始業式	10 / 8	遠足（羽村市動物公園）	11 / 26	クリスマス会①
9 / 3	避難訓練引き渡し		（年少・年中組）	11 / 27	避難訓練
9 / 11	歯科健診・内科健診	10 / 15	避難訓練	12 / 2	クリスマス会②
9 / 23	9月お誕生日会	10 / 21	サイクリング遠足（年長組）	12 / 10	おもちゃつき体験
9 / 28	運動会①	10 / 27	お芋掘り	12 / 16	12月お誕生日会
9 / 30	運動会②	10 / 28	10月お誕生日会	12 / 17	デジタルボックスショー
10 / 1	衣替え	10 / 30	多摩学フェスティバル		（羽村市幼稚園協会主催）
10 / 5	マラソン始まり	11 / 5	みかん狩り（年長組）	12 / 18	2学期終業式
		11 / 19	交通安全教室・勤労感謝の集い		

今後の予定

1 / 6	3学期始業式	1 / 26	1月お誕生日会	2 / 18	避難訓練	3 / 8	避難訓練
1 / 14	初等交流会(年中組)	1 / 28	防犯訓練	2 / 25	2・3月お誕生日会	3 / 13	卒園式
	→中止	2 / 2	豆まき	2 / 26	マラソン大会	3 / 15	修了式
1 / 22	なわとび大会	2 / 6	作品展	→中止	3 / 3	おひなまつり	

菅生学園初等学校

校長メッセージ



下平 孝富校長

＝ 2021年 変化できる者として生きる。 ＝

新年 明けましておめでとうございます。コロナウィルスの脅威の中での新年となってしまいましたが、みなさまにおかれましては恙なく新年をお迎えのことと存じます。今年こそは、コロナウィルスの脅威から解放される年となることを切に願う日々です。

さて、初等学校は昨年11月と12月に計3回の入試を行い、出願総数では前年比36%増となりました。入学数でも23%増となり2020年度募集広報としての目標は一応の成果をおさめられたと思います。立川にできる公立初の12年一貫校のカウンターパートとして歩み始めた初等学校としては良いスタートだったと感じます。これからは、12年後のヴィジョンを一層明確にしていきたいと思います。かの進化論のダーウィンの言葉「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」の言葉のように変化を敏感に感じ、それへの対処を素早くかつ的確に行う1年としたいと思います。

トピック

＝ 運動会開催 ＝

11月1日運動会が開催されました。コロナウィルス感染防止の観点からプログラムごと防止策をとりながらのプログラム進行

でしたが、その中で赤組、白組とても熱い勝負を繰り上げてくれました。

一人一人たくさん練習してきたことを一発勝負の発表の場で成功させるのは実はとても大変なことです。それでも友達や仲間と力を合わせて大成功させることができた経験はとても大事なものだったと思います。

晴れ渡った空の下に元気な声が響き渡りました



活動報告

9/12	授業参観日	11/7	第14回運動会	12/5	第3回入学試験
9/16	TGG英語体験学習 (5・6年)	11/11	全校遠足	12/15～18	個人面談(全学年)
10/7～12	6年生三者面談	11/13	第2回避難訓練	12/19	スッガニア
10/24	スッガニア (English & Nature)	11/14	第2回入学試験		(Art & Craft)
11/1	第1回入学試験	11/19～22	6年生修学旅行 (京都・奈良)		
11/2	実力テスト	11/28	校内マラソン大会		

今後の予定

1/13	書初め大会 → 中止	3/3	1・2年生 保護者会
1/16	もちつき大会 → 中止	3/4	新江の島水族館にて英会話研修
1/22	英語検定	3/9～12	個人面談(全学年リモート)
1/28	第3回避難訓練	3/13	縦割りウォーキング
1/30	漢字検定	3/19	卒業式
2/20	劇と音楽の会 → 中止	3/23	修了式
3/1	5・6年生 保護者会		
3/2	3・4年生 保護者会		

菅生高等学校 中等部

校長メッセージ

下平 孝富校長

= 2021年 変化に臆せず、立ち向かう1年に =

明けましておめでとうございます。コロナ禍の中の新年を迎えましたが、みなさまにおかれましては恙なく新しい年をお迎えのことと存じます。昨年の1月半ば過ぎに中国で得体のしれないウィルスが流行しているという報道がされました。その後、瞬く間に感染が拡大。コロナウィルスの影響で、年間行事計画の大幅な変更を余儀なくされました。今年こそは、そうならないことを切に願う新年です。

中等部にとって、今年は大きな変革の年です。完全な6年一貫教育のしくみを明確にするための「医学・難関大コース」のスタートとチアダンス・クラブの始動です。どちらも、これからの社会の変化とneedsに対応するための変革です。変化に対応するために新しいことに踏み出すのは、勇気のいることです。戦国の覇者 織田信長の言葉に「臆病者の目には、敵は常に大軍に見える」というものがあります。変化を恐れず、臆病者にならない1年としたいと決意をあらたにしております。

トピック

= 【特色ある行事】思い出深い音楽祭 =

開校3年目から開催されている音楽祭は、生徒と教員で力を合わせてつくりあげる、たいへん思い出深い行事です。保護者の皆様には、お子さんの成長ぶりや学級の様子を見ていただく絶好の機会となっています。

クラス合唱では、放課後練習の取り組みを通じて、本番を迎えるまでには様々なドラマが生まれます。みんなで力を合わせて練習が順調に進んだ日には、充実感に満ちたすばらしい笑顔で歌っていますが、思うようにいかない日には、ちょっとした言い争いもおこってしまいます。その解決のために、みんなで輪になって話し合いをしている様子は、この時期には必ずと言ってよいほど目にする光景です。本番の舞台では、すべてのクラスが「優秀賞」を目指して一生懸命に歌います。そして生徒たちは仲間との絆を強く意識し、最高の達成感に包まれる日となります。

大変残念なことに前年度に続き、今年の音楽祭も中止となってしまいました。来年こそ、音楽祭が開催されて菅生中等部の歴史に残る素敵なドラマが生まれることを心から願います。

来年こそ素晴らしい音楽を、素敵なドラマを



活動報告

9 / 1	避難訓練	10 / 11	第2回オープンスクール	11 / 20	生徒総会
9 / 12	夜の学校説明会	10 / 13	開校記念式典	11 / 28	第1回入試体験教室
9 / 14 ~ 19	授業公開	10 / 24	第1回理科実験教室	12 / 5	第2回理科実験教室
9 / 15	塾対象説明会 (立川グランドホテル)	10 / 27	郷土学習① 鎌倉校外学習② Tokyo Global Gateway③	12 / 17	音楽祭(中止)
9 / 30	スポーツ大会			12 / 19	全校集会 秋川駅周辺清掃 (中止)
10 / 1	学期更新式	10 / 30	生徒会役員選挙		
10 / 9	芸術鑑賞教室	11 / 7	第3回学校説明会	12 / 20	第2回入試体験教室
		11 / 11	夢育て講座		

今後の予定

1 / 9	第4回学校説明会	2 / 11	入学準備説明会
1 / 16	第3回理科実験教室 → 中止	3 / 5	野鳥観察② 卒業遠足③
2 / 1	第1回入試(午前・午後)	3 / 6	地域清掃③
2 / 2	第2回入試(午前・午後)	3 / 16	中等部卒業式
2 / 4	第3回入試(午前)	3 / 18	修了式
2 / 6	第4回入試(午前)	3 / 26	新入生招集日

菅生高等学校

校長メッセージ



峰岸 英仁校長

= 平和で幸福な社会の実現のために =

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスにより世界中が混乱しました。日本は感染自体の被害は少なかったのですが、その捉え方・受け取り方で経済的にも教育機会の面でも大きな損失を被りました。報道の多くが、データに基づく科学的な見解よりも、感覚に訴える内容だったことが影響したと思います。

11月に修学旅行で沖縄の平和記念資料館を訪れました。そこに、当時の貧しい生活を強調したかったのか、大根をかじる少女の写真が展示されていました。それは、沖縄の戦争とは関係がなく、昭和9年の岩手県遠野の飢饉を伝える写真です。また、展示には米軍が撮影した写真や映像も多く、それらは米軍の視点ですから、彼らが正義としてとらえられています。このような展示は見学者に事実を伝えるのではなく、印象を誘導してしまう心配があります。正しい情報で真実・事実に基づかなければ、良い判断・選択はできません。私たちは、様々なものの見方考え方を身に付けることを追求しています。そのことが、平和で幸福な社会の実現につながると信じています。

明るく希望のある年にしていきたいと思います。

トピック

= 父母の会にも支えられて体育祭開催 =

今年度は各クラブの大会や菅生祭が中止になり3年生にとっては思い出に残る行事がない中で、9月30日に体育祭を開催しました。当日は天気にも恵まれて躍動する生徒の笑顔が沢山見ることができました。また、父母の会が飲料水の提供も行ってくださり、盛り上がる体育祭でした。

青空のもと笑顔溢れる体育祭になりました



活動報告

8 / 24	全校集会（教育実習開始）
8 / 25	健康診断
9 / 5	オープンスクール
9 / 15～18	定期試験B
10 / 10・24	学校説明会
11 / 7・21	学校説明会
11 / 24～28	2年生沖縄修学旅行
12 / 6	学校説明会

今後の予定

1 / 22	推薦入試
2 / 10・11・17	一般入試
2 / 26～3 / 2	学年末試験
3 / 9	卒業式
3 / 17	修了式

父母会メッセージ

多摩学院幼稚園



多摩学院幼稚園
父母会
三田野 美和会長

明けましておめでとうございます。

今年度父母会会長を務めさせて頂いております三田野美和と申します。

2020年、令和2年は新しい生活形式で始まった1年でした。幼稚園の行事、父母会の活動も今までとは全く違い、最初は保護者も子ども達も戸惑いました。しかし子どもは楽しみを見つける天才です。新しい生活形式を受け入れ、毎日元気に登園し、その姿に保護者も元気づけられました。感染症対策の準備を充分にしてくださり、安心安全を優先してくれる幼稚園だからこその子ども達の進化が見られたのだと思います。父母会としての活動は例年通りのお手伝いや定例会などもできずに寂しくもありますが、今の子ども達の生活を影ながら応援し、新しい活動のスタイルを進めて参りたいと思います。どんな事も乗り越え、本年も更に素晴らしい一年にして参りたいと思います。

菅生学園初等学校



菅生学園初等学校
父母の会
堀江 武史会長

新年明けましておめでとうございます。

初等学校は2007年に開校し、今年度で14年目となります。その間、菅生学園の幼中高各校園には多大なご協力を賜りましたことにまずは厚く御礼申し上げます。おかげさまで、初等学校父母の会は昨年5月に設立10周年を迎えました。記念行事も予定しておりましたが、このコロナ禍で中止を余儀なくされました。これまで父母の会の活動を支えていただきました学園、教職員、歴代役員の皆様にご場をお借りして御礼申し上げます。

さて、ここ3年順調に会員数も増え、父母の会の活動は大変活発になってまいりました。5月の総会は書面での審議採決でしたが、運動会やマラソン大会では、受付や駐車場の整理・誘導、子ども達の水分補給等でお手伝いさせていただきました。また、例年1月に行っております餅つき大会は他の行事同様中止となりましたが、少しでもお正月の雰囲気味わっていただくため、市内の老舗和菓子店のお餅を配布させていただきました。お味はいかがでしたでしょうか。今後とも活動内容は広報誌「えがおのすがお」で年5回お知らせいたします。

これからも学校法人菅生学園の一員として、その一翼を担っていけるよう学園の事業に奉仕してまいります。旧倍のご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

菅生高等学校・中等部



菅生高等学校・中等部
父母の会
西迫 初美会長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素は父母の会の活動に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は、父母の会も新型コロナウイルスに振り回された一年でした。卒業を祝う会の中止、菅生祭でのバザー・講演会の中止等、活動計画の変更を余儀なくされました。生徒たちにとっては次々と楽しみにしていた行事がなくなり、部活動も制限される中で、父母の会としてひとつでも多くの思い出を心に残してほしいと、高校では前園真聖さん、中等部では平野早矢香さんをお招きして講演会を開催しました。体育祭では、給水支援に加え、手洗い場の設置で感染防止対策を強化しました。

新しい年を迎えましても残念ながら前のような日常は戻りませんが、生徒たちが安全・安心に過ごし、かけがえのない一年になるよう、学園と協力して学校生活をサポートしてまいります。本年もご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会メッセージ



川蟬会会長
渡邊 弘行会長

学園関係者の皆さん新年あけましておめでとうございます。東海大学菅生高等学校同窓会「菅生川蟬会」を代表いたしまして一言ご挨拶申し上げます。

さて、菅生高校の他に誇れる特徴でもある仲間同志の強い結束と絆は我々卒業生が開校時より作り上げてきた良き伝統です。それはクラブ活動を核として、そこから更に人の輪をつなげてきた結びつきのたま物と理解しております。昨今の猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大により何より心配し心を痛めるのは、その各クラブ活動が制限をされたり休止せざるを得ない状況下に追い込まれることにほかなりません。また大事な授業時間や授業内容の確保なども教職員の皆様には大きなご負担として降りかかっていることとご推察申し上げます。今後この緊急事態を協力しあいながら克服し、そこから新しい伝統につなげていっていただくよう切望いたします。我々同窓会も様々な角度よりご支援させていただき準備はできております。どうぞ遠慮なくご相談を賜れば幸甚です。今後とも卒業生、在校生、教職員が手を取り合って進む菅生川蟬会でありたいと願っております。

最後になりましたが、現在コロナ禍において特に医療関係をはじめとする各最前線で奮闘されている同窓生にはエールをおくと共に関係各位のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

編集後記



赤べこの赤には魔除けの効果があるとされ、発祥の地福島県会津地方では、子どもの魔除けとして用いられています。

明けましておめでとうございます。昨年は混迷を極める1年となりましたが、各キャンパスには子どもたちの笑顔があふれました。学園一体となり、2月の高校・中等部の入試も万全の態勢で受験生を迎えましょう。執筆・編集にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

2021年1月